



平成 25 年 1 月 30 日

報道関係各位

講演会

「子どもの本のもつ力ー読書をするってどういうことー」

「ゲド戦記」 記者 清水 真砂子さんの講演会を行います！

- 【日時】 2月23日（土）午後1時開場、1時30分開演
(3時終了後、サイン会あり 図書をご持参ください。)
- 【場所】 市民会館小ホール
- 【募集】 大人250名
- 【申込み】 受付中。中央図書館直接または電話で（先着順）
- 【託児】 予約制。1歳～小学生まで（持ち物：飲み物 幼児は着替え、おむつも）
- 【主催】 ぶっくんどリーム・ネットワーク福生
(市民と図書館が協力して、読み聞かせなどの大切さを伝える活動を行っている団体)

(清水真砂子氏プロフィール)

1941年現在の北朝鮮に生まれる。1946年春、引き揚げ。静岡大学教育学部卒業後、高校教諭を経て、1976年より34年間、青山学院女子短期大学の専任教員を務める。現在、同大名誉教授。

・1974年作家論「石井桃子」(『日本の児童文学作家3』明治書院所収)で日本児童文学者協会 新人賞受賞。

・1993年作家論集『子どもの本のまなざし』(JICC出版局)で日本児童文学者協会 協会賞受賞。

・2004年「ゲド戦記」(岩波書店)全6巻の訳業により日本翻訳文化賞受賞。

主な著書に「子どもの本の現在」(岩波書店)、「そして、ねずみ女房は星を見た」(テン・ブックス)、「不器用な日々」「幸福に驚く力」(共にかもがわ出版)など。

主な訳書に「夜が明けるまで」「めざめれば魔女」(共に岩波書店)、「ピーターサンドさんのねこ」(あすなろ書房)などがある。

- 【問合せ】 福生市立中央図書館
担当 高木 TEL042-553-3111